9年生　社会科

学期	単元	観点	評価基準	時数
	【歴史分野】 第6章 二度の世界大戦と日本 第1節 第一次世界大戦と日本	知識・技能	第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調などの動きを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、第一次世界大戦後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解している。	4
		思考・判断・表現	世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第一次世界による世界と我が国の社会の変化や影響について多面的・多角的に考察し表現している。	
		主体的に学習に取り組む態度	第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動きについて、より良い社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追求しようとしている。	
	【歴史分野】 第6章 二度の世界大戦と日本 第2節 大正デモクラシーの時代	知識・技能	我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、第一次世界大戦後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解している。	3
		思考・判断・表現	世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第一次世界による世界と我が国の社会の変化や影響について多面的・多角的に考察し表現している。	
		主体的に学習に取り組む態度	大正デモクラシーの時代について、そこでみられる課題を主体的に追求しようとしている。	
	【歴史分野】 第6章 二度の世界大戦と日本 第3節 世界恐慌と日本の中国侵略	知識・技能	経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍をもたらしたことを理解している。	5
		思考・判断・表現	経済の変化への政治の影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、第一次世界大戦後の国際情勢と大衆の出現、第二次世界大戦と人類への惨禍について近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し表現している。	
		主体的に学習に取り組む態度	世界恐慌と日本の中国の侵略について、そこでみられる課題を主体的に追求しようとしている。	
	【歴史分野】 第6章 二度の世界大戦と日本 第4節 第二次世界大戦と日本	知識・技能	昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国とアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍をもたらしたことを理解している。	4
		思考・判断・表現	経済の変化への政治の影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、第一次世界大戦後の国際情勢と大衆の出現、第二次世界大戦と人類への惨禍について近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し表現している。	
		主体的に学習に取り組む態度	第二次世界大戦と日本について、そこでみられる課題を主体的に追求しようとしている。	
	【歴史分野】 第7章 現代の日本と私たち 第1節 戦後日本の出発	知識・技能	占領下の日本で、様々な改革が行われ、民主的な新しい日本が建設されていったことを理解している。	2
		思考・判断・表現	新しい日本が民主的な国家を建設していった過程を、占領下の諸改革や国民の苦難と関連させながら、多面的・多角的に考察し、表現している。	
一		主体的に学習に取り組	国民たちが苦難を克服していきながら、どのように新しい日本を建設していったのかについて、学習に見通しを持	

学期		主体的に学習に取り組む態度	日本を建設していったのかについて、学習に見通しを持ち、振り返りを行いながら課題の解決に取り組もうとしている。	
	【歴史分野】 第7章 現代の日本と私たち 第2節 冷戦と日本の発展	知識・技能	・冷戦が加速し、東西の対立が深まった影響を受けて、日本が国際社会に復帰し、その後外交関係を広げていったことを理解している。 ・特需をきっかけに経済成長を遂げ、国民生活が向上し、メディアを中心とした様々な文化が生まれたことを理解している。	5
		思考・判断・表現	日本がどのように国際社会に復帰し、経済成長を遂げていったのかを、国際社会の動きと関連付けながら考察し、表現している。	
		主体的に学習に取り組む態度	戦後日本の復興と成長の様子について、学習に見通しを持ち、振り返りを行いながら課題の解決に取り組もうとしている。	
	【歴史分野】 第7章 現代の日本と私たち 第3節 新たな時代の日本と世界	知識・技能	・冷戦がどのように終結したのかや、その後も多くの課題が残されている中で日本が期待されている役割を理解している。 ・日本の国内外の動きや国際社会における役割を理解している。	3
		思考・判断・表現	現代の日本の特色を、近代と比較しながら多面的・多角的に考察し表現している。	
		主体的に学習に取り組む態度	現代日本の役割や課題について、学習に見通しを持ち、振り返りを行いながら課題の解決に取り組もうとしている。	
	【公民分野】 第1章 現代社会と私たち 第1節 現代社会の特色と私たち	知識・技能	現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解している。	5
		思考・判断・表現	位置や空間的な広がり、推移や変化に着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現している。	
		主体的に学習に取り組む態度	私たちが生きる現代社会ににについて、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。	
	【公民分野】 第1章 現代社会と私たち 第2節 私たちの生活と文化	知識・技能	現代社会における文化の意義や影響について理解している。	3
		思考・判断・表現	位置や空間的な広がり、推移や変化に着目して、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。	
		主体的に学習に取り組む態度	文化の特色について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。	
	【公民分野】 第1章 現代社会と私たち 第3節 現代社会の見方や考え方	知識・技能	現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解している。	5
		思考・判断・表現	対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通した個人と社会との関係、決まりの役割について多面的・多角的に考察し、表現している。	
		主体的に学習に取り組む態度	現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。	
			・人権思想の歴史など歴史的分野の学習内容を踏まえて	

	【公民分野】 第2章 個人の尊重と日本国憲法 第1節 人権と日本国憲法	知識・技能	人権思想の歴史など歴史的分野の学習内容を踏まえて、日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。 ・日本国および日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事行為に関する行為について理解している。	6
		思考・判断・表現	対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配などに着目して、対話的な活動を通じ日本国憲法が大切にされてきた理由について多面的・多角的に考察し、表現している。	
		主体的に学習に取り組む態度	日本国憲法が大切にされてきた理由について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。	
	【公民分野】 第2章 個人の尊重と日本国憲法 第2節 人権と共生社会	知識・技能	人権の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。	6
		思考・判断・表現	対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配などに着目して、日本国憲法において、人権保障が大切にされている理由について多面的・多角的に考察し、表現している。	
		主体的に学習に取り組む態度	人権保障が大切にされている理由について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。	
	【公民分野】 第2章 個人の尊重と日本国憲法 第3節 これからの人権保障	知識・技能	社会の変化に伴って人権の考え方が変化していく中でも、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解している。	4
		思考・判断・表現	対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配などに着目して、社会の変化に伴って新しい人権が認められてきた理由について対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察し、表現している。	
		主体的に学習に取り組む態度	社会の変化に伴って新しい人権が認められてきた理由について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。	
二学期	【公民分野】 第3章 現代の民主政治と社会 第1節 現代の民主政治	知識・技能	議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方について理解している。	7
		思考・判断・表現	対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察し、表現している。	
		主体的に学習に取り組む態度	民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。	
			・国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらまし	

【公民分野】 第3章 現代の民主政治と社会 第2節 国の政治の仕組み	知識・技能	や政党の役割を理解している。 ・国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。	10
	思考・判断・表現	対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	
	主体的に学習に取り組む態度	民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。	
【公民分野】 第3章 現代の民主政治と社会 第3節 地方自治と私たち	知識・技能	地方自治の基本的な考え方について理解している。その際、地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について理解している。	6
	思考・判断・表現	対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察し、表現している。	
	主体的に学習に取り組む態度	民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。	
【公民分野】 第4章 私たちの暮らしと経済 第1節 消費生活と市場経済	知識・技能	事例や統計資料など収集・選択し、読み取る学習を通して、身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解している。	6
	思考・判断・表現	対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、消費生活や流通に関する様々な事例を基に、個人や企業の経済活動における役割と責任について現代社会の生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	
	主体的に学習に取り組む態度	身近な事例の提示やシミュレーションなどの活動を通して、市場の働きと経済について理解し、現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して、自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。	
【公民分野】 第4章 私たちの暮らしと経済 第2節 生産と労働	知識・技能	現代の生産などの仕組みや働き、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。	5
	思考・判断・表現	対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について現代社会の生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	
	主体的に学習に取り組む態度	市場の働きと経済について理解し、現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して、自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。	
【公民分野】 第4章 私たちの暮らしと経済	知識・技能	・市場経済の基本的な考え方について理解している。その際、市場における価格の決まり方や資源の配分について理解している。 ・現代の金融などの仕組みや働きを理解している。	
	思考・判断・表現	対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任について現代社会の生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、社会に見られる	

	私たちの暮らしと経済 第3節 市場経済の仕組みと金融		課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	6
		主体的に学習に取り組む態度	市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して、自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。	
三学期	【公民分野】 第4章 私たちの暮らしと経済 第4節 財政と国民の福祉	知識・技能	・社会資本の整備、少子高齢化における社会保障の充実・安定化、消費者の保護についてそれらの意義を理解している。 ・財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。	4
		思考・判断・表現	対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、市場の働きにゆだねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	
		主体的に学習に取り組む態度	国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して、自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。	
	【公民分野】 第4章 私たちの暮らしと経済 第5節 これからの経済と社会	知識・技能	公害の防止など環境の保全について理解している。	3
		思考・判断・表現	対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、市場の働きにゆだねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	
		主体的に学習に取り組む態度	国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して、自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。	
	【公民分野】 第5章 地球社会と私たち	知識・技能	・世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機関などの役割が大切であることを理解している。 ・地球環境、資源、エネルギー、貧困などの課題の解決ために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解している。	14
		思考・判断・表現	対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	
		主体的に学習に取り組む態度	世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して、自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。	
	【公民分野】 終章 より良い社会を目指して	知識・技能	持続可能な社会の考えについて、これまでの公民的分野での学習を踏まえて理解を深めている。	4
		思考・判断・表現	社会的な見方・考え方を働かせ、私たちがより良い社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察、構想し、自分の考えを説明、論述している。	
		主体的に学習に取り組む態度	私たちがより良い社会を築いていくために解決すべき課題について、現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して、自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。	